



# 滝川高等学校 メルゲド総合学校 交流報告

МЭРГЭД лаборатори сургууль

3月9日の交流会での各班の発表内容を紹介します。

## 滝川1班「滝川市」



一面に咲く菜の花や、山のように積もった雪などモンゴルでは見られない滝川の風景や、グライダー、ジンギスカンといった滝川名物を紹介しました。「ジンギスカン」の名前が「チンギスハーン」に由来することは、改めて時間をとって紹介するようです。

## 滝川2班「北海道」



北海道の場所や大きさなどのあと、札幌雪祭りの大雪像と北海道の食材について紹介しました。海のないモンゴルの生徒にとって、刺身や、魚や貝を煮込む石狩鍋、イクラなどは未知の料理だったに違いありません。

## 滝川3班「滝川高校」



滝川高校の行事と、SSHのプログラムや研修について紹介しました。学校祭の仮装パフォーマンスや雪中行事など、メルゲド学校には無い行事がたくさんあったようです。

## メルゲド1班「メルゲド学校」



1000人の生徒が通う、小中高一貫校であることや、モンゴル国内の主要5校のひとつであること、数学と外国語はオリンピックで1位から3位を独占していることなどが紹介されました。滝高生は驚きを隠せません。また、首都ウランバートル以外で日本語を教える唯一の学校であることもわかりました。

## メルゲド2班「学校行事」



メルゲド学校にも運動会やダンスの行事、合唱祭など日本と変わらない行事があること。ノーバックパックデー、親も参戦するバレーボール大会など、日本にはない行事も紹介されました。

## メルゲド3班「アルバイヘル」



アルバイヘル市の代表的な建築物や、教育施設の紹介に加え、過去にはモンゴル帝国の首都カラコルムだったこと、世界遺産「エルデネ・ゾー」があることが紹介されました。

準備した発表が終わり、自由に質問しあうようになると、なかなか日本語が通じない場面も発生しました。そんなときに登場したのは英語です。英語で、意味が通じた後は再び日本語に戻って交流が続きました。「なぜ英語を学ぶのか」の答えが今日の交流の中にあっという間に思いました。